

事業所情報

- 事業所類型：特別養護老人ホーム
- 所在地：町田市金森東3-18-16
- 開設：平成5年12月
- 運営事業者：社会福祉法人合掌苑



活用ICT

全館Wi-Fi環境が整備され、インカムを利用している。その他、タブレット、介護ケアソフトを導入。法人全体では、共通の会計、給食・栄養管理ソフトも導入し、他の拠点間とTV会議システムも活用している。

ICT導入のきっかけ

顧客価値の向上の視点で自動車ディーラーやホテルを視察した際、その有効性に感動し、インカム導入を決定した。また、法人レベルの経営と現場委譲の両方を進める点でタブレットや経営管理ソフト等を整備した。

どのような効果があったのか

- インカム導入による職員間のコミュニケーション活性化
- 離職率の改善、利用者サービスの向上
- 現場リーダーがラップトップやソフトを活用し、労働時間、収入・費用等を管理し、残業削減や労働生産性向上に貢献

導入・運用にあたっての工夫

- インカムは、トップダウンで一気に台数を揃えて導入し、導入効果を最大化した。
- 無線環境、サーバー、汎用ソフト、リーダーが利用するタブレット等は法人レベルで整備、一方、介護ケアソフト選定や生産性管理等は現場が実施と役割分担した。

これからICT活用に取り組む皆様へのメッセージ ～利用者にとっても、ICT化は有効です！～

当施設では顧客（利用者）視点に立ち、インカムを導入したことが、現場のコミュニケーション向上や離職率低減、提供サービスの質の向上に結び付きました。他の業界のいいところを見習って、取り入れることも有効です。

ICT化の基盤作りはトップダウンで進める一方、介護現場に合ったソフト選定や労働時間や採算管理は、現場と経営での効果的な役割分担についてもぜひ考えてみてください。

事業所情報

- 事業所類型：特別養護老人ホーム
- 所在地：町田市凶師町2987
- 開設：平成3年3月
- 運営事業者：社会福祉法人
東京援護協会



活用ICT

- 介護報酬請求ソフト
- 介護ケア記録用のアプリ
- 見守りセンサー（ベッド下に敷いて利用）

ICT導入の
きっかけ

- 介護ケアアプリは、手書きの介護ケア記録を効率化し、記述を量・質ともに充実させるために導入
- 見守りセンサーは、マットレスの買い替え時に、通常のマットレスと同じくらいの費用で購入できることを知ったことで導入に踏み切った。

どのような効果
があったのか

- 介護報酬請求業務が非常に楽になった。
- 介護ケアアプリで介護ケア記録を簡単に入力できるようになったため、記録の量や内容も充実するようになった。
- 見守りセンサーを全ベッドに導入したため、見回り業務が効率化した。

導入・運用に
あたっての工夫

- 介護ケア記録は、初期投資がなく月々定額を支払うだけのアプリケーションを選択した。
- ベッドの見守りセンサーは、頻繁にセンサーが反応し過ぎないように、使う頻度が高い機能に絞った商品を導入した。

これからICT活用に取り組む皆様へのメッセージ ～導入時に考えて！うちの事業所で本当に使えるの？～

最近では、月々の利用料を支払うだけで、質の高い介護記録アプリや、通常のマットレスと同じくらいのセンサー付マットレスといった色々なツールがあります。ICT化＝多額投資と考えずにぜひチャレンジしてください。一方で、施設建物の構造上、全館で無線を飛ばすことは本当に可能なのか？災害等でネット環境が利用できなくなった時どうするか？といった、リスク対応も含めたメリット・デメリット等の検討もぜひ事前に行ってください。

事業所情報

- 事業所類型：訪問介護
- 所在地：大田区大森西6-2-2
STビル1階
- 開設：平成24年3月
- 運営事業者：株式会社カラーズ



活用ICT

クラウドを利用した会計、労務管理、現場ヘルパーを含む情報共有や連絡機能を有するビジネスチャットを利用。また、出退勤管理、勤怠管理、ケアマネ支援、Webベーストレーニング、福祉用具営業管理ソフト 等を利用している。

ICT導入のきっかけ

関係者全員へのリアルタイムでの情報共有は大きな課題だった。とりわけ、多くのスタッフへ電話連絡をする必要がある責任者は、一日中スタッフへの連絡に追われることも少なくない。また、介護の現場では支援経過などの記録を残す必要もあり、記録作業の負担も大きかったため、ビジネスチャットの導入を検討した。

どのような効果があったのか

- 経費、給与等の会計、労務管理の効率化、スピードアップ、費用削減。また、経営データ・ツールとしての使用、結果としての経営意識改革
- ビジネスチャット活用による、現場ヘルパーを含む業務効率化、利便性向上

導入・運用にあたっての工夫

- 導入・運用にあたっては、職員の意見聴取、試行を実施
- 相性のいい外部の専門人材の活用、外部組織との連携による新たなICT活用
- 高齢ヘルパーの能動的参加への働きかけなど、トップと現場の相互協力

これからICT活用に取り組む皆様へのメッセージ ～これからは事業者間や行政を含むICT化が必要です～

ICTはあくまでツールなので、何を目的にして導入するかの検討がまず必要です。当社でも紙ベースの方がやりやすい業務は残し、ICTと使いわけています。また、介護とICTの両方に強い人材は少なく、外部と連携したり、適切な人材を活用することも重要です。

1社でやれることには限界があります。皆さんも企業間の情報のやりとりの電子化や、行政の提出書類の電子化の動きを進めてみてはいかがでしょうか。ICTは採用や人材育成、会社の広報、共同開発のツール等幅広く使うことが出来ます。

事業所情報

- 事業所類型：訪問介護
- 所在地：目黒区碑文谷5-20-1
ドゥオールビル2階
- 開設：平成25年2月
- 運営事業者：株式会社やさしい手



活用ICT

- 自社で構築した、スマホやパソコンでログインして使える訪問介護員向け情報ツールを導入
- 訪問介護員、利用者の状況管理を行う、事業所レベルで業務に利用するシステム

ICT導入の きっかけ

専門職が本来業務へ注力できる環境の整備人材の効率的な活用を目的として、会社全体で導入

どのような効果 があったのか

- ヘルパーのスケジュール管理、連絡等に加え、ヘルパーへの業務の紹介も効率的に出来るようになった。
- 事業所側も人材不足解消、業務効率化や業務改善、利用者管理やサービス向上への効果を感じている。

導入・運用に あたっての工夫

- ツールを利用して記録を入力すると都度手当を支払うようにし、職員にインセンティブ付けした。
- 1件のレコード記録で手当を支給する。お客様に対応するヘルパーが入力する情報が最も重要であるため、この方法を取っている。
- ヘルパー1人1人が個人保有の機器で利用することで、仕事のしやすさを挙げている。

これからICT活用に取り組む皆様へのメッセージ ～まずは試してください！お互い良いところを学び合いましょう～

ICTを導入すると省力化が進み、業務効率化につながるのので、臆せずまずは試してください！私たちも、他の事業所のICT化の状況を見て良いところは導入したいので、ぜひ情報交換していきましょう。管理者のみでなく、現場のヘルパーの方も参加できるようにした方が良いでしょう。

事業所情報

- 事業所類型：認可保育所
- 所在地：台東区日本堤2-7-1
- 開設：昭和46年6月
- 運営事業者：社会福祉法人康保会



活用ICT

- 保育ソフト（乳児の登降園管理、職員の出退勤管理、園児台帳作成、育児日記（連絡帳）の電子化、計画作成（月案、週案作成等））
- デジタル・サイネージ（園児の日常生活情報画面を園内に掲示）

ICT導入のきっかけ

- 乳児に係る記録の必要性、行政関連を含む書類増加や監査対応、見守り機能強化への対応の必要性等があったところ、国から補助金が出ることになったことをきっかけに導入

どのような効果があったのか

- 乳児の登降園管理、職員の出退勤管理、延長料金把握等をシステムで行えるようになったため、業務が効率化した。
- 保育内容の確認、日誌作成が楽になり、修正や内容検索も簡単になった。
- 園内のデジタルサイネージで保護者が自身の子供の様子がわかり、好評を博している。

導入・運用にあたっての工夫

- 年齢の高い職員へは丁寧にサポートした（意義や動機付けの声かけをしっかりと、若手とも積極的に交流するようしてもらった。）。
- 保護者への説明も丁寧に行った（連絡帳等電子化の意義やセキュリティ面などを丁寧に説明）。

これからICT活用に取り組む皆様へのメッセージ ～現状打破にまず一歩を！～

まずは1歩を踏みだしてほしい。そうしないと現状を打破できない。
ICT活用は、事務処理の業務効率化のみでなく、保育の質の向上、乳児の安全性確保等多様な可能性を持っています。ICTも日々進化しています。乳児保育の現場、社会変化に沿ったICT化に取り組、よりよい保育を実現しましょう。

事業所情報

- 事業所類型：認可保育所
- 所在地：品川区大井7-4-18
- 開設：昭和25年5月
- 運営事業者：社会福祉法人緑の家



活用ICT

- 園児の記録、職員出退勤管理を行うソフト
- 乳児の午睡の状況をチェックするセンサー機器
- タブレットPC、デスクトップPC、クラウド型のサーバー
- その他のソフト（会計ソフト、給食管理ソフト）

ICT導入のきっかけ

「品川区認可保育所等 I C T 化推進事業補助金」の制定をきっかけに導入

どのような効果があったのか

- 手書きだった作成書類がきれいになり、前年前月等との比較といったことも簡単にできるようになった。
- 午睡チェックの記録を自動的にとってくれるため、職員の負荷が軽減した。

導入・運用にあたっての工夫

- システムの利用法やセキュリティについては、きちんとルールを作って運用
- システムの不具合等への対応、業者のサポート

これからICT活用に取り組む皆様へのメッセージ ～継続的にサポートしてくれる業者を選んでください～

最初は大変なこともあります。社会の変化を考えるとICT化は必要です。

ただ、ICTを使ってみると、不具合や操作の不明点は必ず生じます。そのため、導入時のみでなく、業者の継続的なサポートが必要です。現場の職員の質問にすぐ応えてくれるような業者をきちんと選んでください。そのためには、パンフレットだけでなく、実際に話をする、製品を試しに試してみる、外部の評判も聞く等するのも良いと思います。

事業所情報

- 事業所類型：認可保育所
- 所在地：板橋区徳丸3-20-14
- 開設：昭和28年4月
- 運営事業者：社会福祉法人
藤花学園



活用ICT

- タブレット（玄関先に設置し、登降園や職員出退勤をタッチパネルでチェック）
- 園児の成長記録、職員出退勤管理等を行うソフト
- 乳児の午睡の状況をチェックするセンサー、機器

ICT導入の
きっかけ

- ICTの進歩、補助金制度制定等をきっかけに導入していった

どのような効果
があったのか

- 職員の業務負担が軽減した
- 園の管理事務業務の省力化、紙・コピー削減によるコスト削減

導入・運用に
あたっての工夫

- 年月をかけてICTを段階的に導入したことで、職員へスムーズに普及させた。
- ICT化する部分としない部分を、きちんと使い分けしている（例えば、連絡帳は定型文過ぎると意味が薄いため、手書きのままにしている）

これからICT活用に取り組む皆様へのメッセージ ～スマホ、携帯、使えますよね？だったら大丈夫！～

スマホや携帯でメールが使える人ならICTは活用できます！ぜひ、あたって砕けろでやってみてください。うちの職員もそれですっかり慣れていきました。

また、使えるICTを選んで導入し、実際に使っていくには現場の職員の皆さんのアクションも重要です。ぜひ、現場のニーズを業者に伝えたり、現場の職員同士で助け合って活用したり、一丸となってチャレンジしてください。

事業所情報

- 事業所類型：児童養護施設
- 所在地：世田谷区上馬4-12-3
- 開設：昭和23年1月
- 運営事業者：社会福祉法人
東京育成園



活用ICT

- 児童個人に係る記録・蓄積・活用が可能なソフト（個別開発）
- 出退勤管理、インフォメーション機能、連絡機能、回覧機能等を有するソフト

ICT導入の
きっかけ

- 自作も含めた会計、給与計算、栄養計算への利用は20～30年前から行っていたが、法人が経営するグループホームを含めたネットワーク化の必要性が高まってきたことや、児童個人の記録とその蓄積・活用の必要性の高まりから導入

どのような効果
があったのか

- 分散しているグループホームに勤務する職員と、簡単に情報共有ができるようになった。
- 入力が簡単になり記録する分量が増えたことから、児童への対応の検討に使えるようになった。

導入・運用に
あたっての工夫

- 徐々にICT化を行い、試行と慣れの期間を置くことで、職員が受け入れやすかった
- 職員から上がってくるICTに関するクレームを、システムに反映可能な場合は、すぐに対応する。

これからICT活用に取り組む皆様へのメッセージ ～ロコミ！デモンストレーション！ぜひ多角的に情報収集を～

他の施設で職員が便利といっているソフトやシステムはぜひ見てください。ソフトやシステムのデモンストレーションも見て、使い勝手についても体験した上で何を導入するか決めると良いと思います。また、現場の職員にもどんな機能が必要か聞いて、必要な機能が搭載されているソフトウェアを選択していくと良いと思います。

当事業所のような、職員が色々な場所で勤務している事業所、また、利用者の個人特性を重視した施設では、ICT化は大変有効です。

事業所情報

- 事業所類型：障害者支援施設
- 所在地：町田市凶師町971-2
- 開設：平成18年4月（民間移譲）
- 運営事業者：社会福祉法人
みずき福社会



活用ICT

利用者記録を記録・蓄積するデータベースソフト。入力フォームに記録を入力するだけで、各種報告書への転記が可能であり、どの職員もPCにログインするだけで記録を閲覧することができる。その他、職員への連絡用掲示板、共有施設予約簿といった多様な機能も装備

ICT導入の
きっかけ

施設の運営母体の変更
OSのバージョンアップの際にそれまで使用していたソフトウェアが使用できなくなったこと。

どのような効果
があったのか

- 利用者記録作成にかかる時間が短縮した。
- 簡単に記録が作成できるようになったため、インシデント報告が充実し、今後の計画を立案する際の検討材料にやすくなった。
- どの職員もログインするだけで利用者記録が閲覧できるため、スタッフ間での情報共有が簡単になった。連絡用掲示板によりスタッフへの全体連絡事項の伝達も簡単になった。

導入・運用に
あたっての工夫

- 職員が本当に使う機能を備えるよう、施設の担当職員が自分である程度手を入れることができるソフトウェアを選定
- 月1回程度、ICTがテーマの職員打合せを実施し、現場職員からのソフトウェアへの要望等を吸い上げ、改善を繰り返していった。

これからICT活用に取り組む皆様へのメッセージ ～現場のニーズファーストです！～

現場のニーズを踏まえて、現場のスタッフがデータベース等を作成することが重要です。例えば、外注のみでは、現場のニーズに対応できず、費用的にも高くなってしまいうでしょう。ICTと言っても、難しく考えず、最初は小さいところから始め、現場ニーズを踏まえて少しずつ拡張や見直しをしていってください。

事業所情報

- 事業所類型：障害者支援施設
- 所在地：八王子市八木町8-11
- 開設：昭和52年4月
- 運営事業者：社会福祉法人
多摩養育園



活用ICT

利用者の基本データや変化のデータ等の記録、モニタリング、支援計画作成に利用可能なソフト

ICT導入の きっかけ

- 業務が支援計画作成、モニタリング、事故報告といった業務効率化の必要性が高まっていた。
- 同じ法人が運営する特別養護老人ホームで既に利用しているシステムについて、何度も検討やデモンストレーションを重ね、導入した。

どのような効果 があったのか

- 利用者記録が増加した。また、全体的な支援計画作成等へ活用しやすくなった。
- 事業所全体での統一的なシステム導入による管理や監査の効率化
- 見落としや支援し忘れが減った。

導入・運用に あたっての工夫

- 従来より使っていた書類フォーマットで使えるものはそのまま使用している。
- 建物の構造上の制約（無線が使えない）に合わせ、USBと有線でのインターネット環境で使えるシステムにした。
- セキュリティ対応等に係る職員への継続的な意識付けをした。
- サービス管理責任者がこまめに職員の要望を業者に伝えて、ソフト改良に反映させた。

**これからICT活用に取り組む皆様へのメッセージ
～ニーズの明確化がまず必要、導入後の壁を乗り越えれば後は楽になります！～**

自分たちの仕事の中で、何が必要か、欲しいかというニーズを明確化できれば、導入するICT機器やソフトは自ずと選択されます。

一度ICTを導入すれば、入力操作への慣れ等である程度時間がかかりますが、それを乗り越えれば、楽になります。最初は大変な時もあるかもしれませんが、乗り越える価値はあるので、ぜひ頑張ってください。